



# なきごえ



1988

10

大阪市  
天王寺動物園協会





久田 雅夫

動物写真を始めたのが、40歳にあと数年で届くといふときに脱サラ、—この世界に、無謀にも飛び込んでしまった。その時、妻子4人。前の会社の仕事をしていたほうがはるかに生活は楽であった。

3年間は、程んどと言っているほど、無仕事、無収入、無我夢中で過ぎた。子供3人にいつも口グセのようにロマンを持って生きるんだと言っていたが、徐々に説得力にかけ、その狭間で生活。そして7年がたった。ただひたすら、好きな仕事であること、野生動物の保護を訴え、世の中に少しでも役立つこと、本気で一生懸命すること、この三つを守りながら、飯が食えればこんなありがたいことはないと思った。「東京に生きる野生動物たち」「アサヒカメラ教室、ネイチャーフォトNo.3(共著)」「貂の森日記」と少しずつではあるが本に出来上がってきた。

その東京奥多摩での体験談、野生動物写真の決定的出会い、思いを書いてみる。

冬の谷間はうす暗く、日が沈むのがとても早い。夜は殺気、妖気がただよい、心臓の鼓動が異常に早くなる。ジープから、カメラをかまえ、身じろぎもせず暗い山の斜面を見ていると、岩や切り株が、人や動物の死に顔に見えてくる。気温は零下10°に下がることもめずらしくない。睡魔と恐怖に勝てず、つい一杯やってしまう。朝まで寝込み、起きてみれば、

なきごえ10月号もくじ

動物と私.....	2
“コジャコウネコに初めての赤ちゃん誕生”...	3
動物園日記・動物園グラフ.....	4・5
長生き動物はだーれ!.....	6・7
ワライカワセミの人工育すう.....	8・9
獣医室から④⑦.....	10
動物園ニュース.....	11

仕かけた餌はすべて動物に食べられてしまっている。7年も野生動物を追いかけしていると、いろいろなことに出会う。撮り始めたばかりのころ、沢で何日も粘り、動物が出てくるのを待っていた。いつこうに現れない。根負けし、えーい、ままよと外に出て、小便をしてしまった。私の匂いが山中に広がり、それをかぎつけた動物たちは絶対に姿を現すことはないだろう。「短気は損気」と思いながら、なにげなく懐中電灯で餌場を照らしてみた。

すると、暗闇で何かが動いた。光の輪の中に二匹の燃えるように美しい黄テンが浮かび上がった。白い顔、真黄色な胴体、冬毛のテンだ。目はランランと輝き、役者が舞台上に登場するようにさっそうとしていた。私ははやる気持ちをおさえ、夢中でシャッターを押した。私と動物写真との決定的な出会いだった。雲取山で三年間追い続けて、親子三頭いっぺんに撮ったこと、しかも同じ日にモモンガにも出会う。動物が撮れるときは、偶然が多く、しかも感動的なのだ。7年間も撮り続けていると、個体数の少ない東京の哺乳動物の写真も徐々に増えていった。キツネ、サル、カモシカ、ヤマネ、リス、ハクビシン、イタチ、ウサギ、アナグマなど18種類にもなった。

毎年この仲間たちにあえることがなよりの楽しみになり、何度も山に出かけることになる。そしてけなげに、したたかに生きているかれらを何んとか保護する—手だてはないものかと思う。

人類は、自然破壊を繰り返すことにより繁栄してきた。しかし自分自身が破壊した自然生態系で生きることができず滅亡した、古代文明がある。ナイル、インダス、メソポタミアなどだ。

人間も動物も自然の一部であり自然に感謝しお互いが仲よく住まわせてもらっていることを忘れてはならないのである。

(日本写真家協会会員、東京都鳥獣保護員)

表紙の 写真説明

ウオクイワシ

*Ichthyophaga ichthyaetus*

インドから東南アジアにかけて分布しています。魚をよく食べるので、水辺近くに住んでいます。よく大きな声で鳴くせいか、動物園では人気者です。(撮影：野口 秀高)



“コジャコウネコに初めての赤ちゃん誕生”

友好都市の中国・上海市から親善動物として日本へ来て3年目の今年6月18日に4匹の赤ちゃんが生まれました。残念ながら3匹は間もなく死亡しましたが、残る1匹はスクスク育っています。

好奇心いっぱいにつぶらな眼で運動場を動きまわっています。(撮影：早川 篤)

# 動物園グラフ

なぎごえ24(10),1988

秋の気配が少しずつ感じられる季節になってくると、動物達の食欲も旺盛になってきます。

彼らの食べる飼料がどのようにして作られているのかを、ほんの一部ですがご紹介しましょう。  
(撮影：早川 篤)



野菜、肉、魚などが運び込まれます。



担当者別に飼料が分けられます。



担当者がエサを調理します。これはライオンが食べる馬肉です。



アシカのエサは冷凍アジ。

## 7・8月の動物園日記

- 7 / 31. 第14回サマースクール(4組、計256名参加)が終了しました。
- 8 / 1. 新動物舎ができるまで、ホンダギツネ、キタキツネ、ホッキョクギツネ、タヌキ、シマスカンクを改修された旧ヒョウ舎で展示することになりました。
- 8 / 2. 今年生まれのアシカの子の体重測定を行いました。
- 8 / 4. キーウイ、オス3羽、メス1羽の体重測定を行いました。

- 8 / 5. クロサイが交尾しました。タスマニアデビルのオス“クロバー”が、老衰で死亡しました。
- 8 / 7. カリフォルニアアシカとペンギンの全頭羽にビタミンの補給を行いました。
- 8 / 10. ハクビシンが2頭生まれました。
- 8 / 11. タヌキを1頭保護しました。
- 8 / 13. キーウイのオス“ジュン”が28回も続けて鳴くのを確認しました。
- 8 / 15. 新しい麻酔銃の試射を行いました。8月に入り、一斉糞便検査を行なっています。本日はホッキョクグマについて実施し

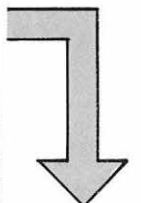
なぎごえ24(10),1988



量が多い時は機械で切ります。



ジャガイモ、ニンジン、キャベツとペレットを混ぜて…。



ヤギとヒツジの大好物。



白菜、パンそしてりんごを細かく切って、これを混ぜると…。



レアのヒナの飼料となります。

- ました。
- 8 / 17. 骨折で入院治療中のアカカンガルー“ピコ”のレントゲン検査を行ないました。
- 8 / 18. 今年、パードケージ“鳥の楽園”で産卵され、人工ふ化し、育すうされたアカアシコガモ2羽とツクシガモ1羽を、“鳥の楽園”に放しました。
- 8 / 19. グラントシマウマのメス2歳の“トモ”が、15歳のメス“レディー”から咬むなどの攻撃を受けるため、一時隔離しました。
- 8 / 21. 第40回動物のお話とスライドの会「キーウイについて」を開催しました。

- 保護で元気を回復したフクロウ2羽、トビ1羽を自然復帰させました。
- 8 / 25. フタコブラクダのメス“サクラ”の胸から出血がみられたため、すぐに治療を行ないました。
- 8 / 28. センダウムシクイ1羽、ゴイサギ1羽を保護しました。ゴイサギは右翼を骨折していたため、固定手術を行ないました。エランドのオスがお腹が張り鼓腸を示しはじめたため、麻酔ピストルを用いて、治療薬を注射しました。



# 長生き動物はだーれ!

なきごえ24(10),1988

人間の寿命は昔と比べるとずいぶん伸びました。特に日本人の場合、昭和10年の男子46年、女子49年に比べて現在ではそれぞれ76年、80年と比類を見ない速さで世界のトップの座についてしまいました。

さて動物の寿命というのはどうでしょうか。まず野生での記録というのはどうしても正確さに欠けるものが多いので、動物園などの飼育下での記録が中心になりますが、野生のものより飼育下の動物の方が寿命が長いのは当然といえるでしょう。動物園では毎日、栄養価の計算された餌を適切な量与えられていますし、外敵に襲われる心配もなく、また病気になったとしても適切な治療が施されますから、長生きしない方が不思議なくらいです。

しかし動物園で飼育されたからといって全てが長生きするとは限りません。反対に比較的短命に終わる場合もあります。これは動物園の動物が家畜やペットとははっきり異なる点で、家畜・ペットが人間なしでは生きていけないのとはちがひ、動物園の動物は本来は野生動物であり、人間の影響下に入るのを拒み続けてきたのです。そのために時に飼育環境や餌になじまず、種々のストレスも加わって生涯を終えることがあるわけです。

動物園で動物を長生きさせるには、動物側の条件としてはその飼育環境と餌にいかにか早く適応するかにあります。一方動物園側としては環境の整備、飼育技術の向上、病気予防、早期発見、適切な治療、

表① 主な哺乳類の最長飼育記録

動物名	飼育期間	動物名	飼育期間
ハリモグラ	49年4月	ツキノワグマ	34年
コアラ	6月10日	ジャイアントパンダ	13月10日
オオカンガルー	18年11月	ライオン	25年0月
ハリネズミ	4年2月	インドゾウ	57年
オオコウモリ	17年1月	シマウマ	28年1月
ツバイ	2年3月	インドサイ	40年4月
ニホンザル	35年0月	カバ	49年6月
オランウータン	45年9月	ラクダ	30年1月
オオアライクイ	19年5月	ニホンジカ	25年5月
シマリス	3年5月	キリン	28年
ハツカネズミ	2年10月	バイソン	26年
オオカミ	15年7月	ウシ	40年
イヌ	28年3月		

日本動物園水族館協会発行「飼育ハンドブック」より

餌の開発などがあげられると思います。もちろんその動物自身が健康で体力的にも恵まれていることが一番重要なのは言うまでもありません。

以上の条件さえ合致すれば、動物は本当に天寿を全うするくらいに長生きしてくれるはずで

さて動物がどのくらい長生きするのか、それを世界中の動物園の飼育記録から拾ってみました。鳥類、爬虫類を除いて主な哺乳類だけにとどめましたが、これは最長飼育記録であって平均寿命ではないことを念押ししておきます。(表①)

ツバイやシマリス、ハツカネズミなどが2~3年で、ゾウが57年、カバが49年であるのを見ると、小さい動物ほど短命で、大きい動物ほど長い傾向にあるのではと考えがちですが、あまりにも例外が多すぎるため、この説には賛同しかねます。それならば知能程度ではどうでしょうか。哺乳類中最長寿の人間から最短命のハムスターまで、知能程度の順に寿命もなっているのでしょうか。これも答は否です。哺乳類の中で原始的といわれるハリモグラで49年もの長期飼育記録がありますし、ましてや知能を判定する規準などまったくあやふやです。

いずれにしても寿命というのは数年で尽きるものから50年、60年のものもあるわけで、実に千差万別です。それぞれの動物が寿命一杯に生きた時、長生きしたといえるわけで、例えば20年間飼育したゾウと2年間飼育したハツカネズミではどちらが長生きしたといえるのでしょうか。絶対的にはゾウの方が18年も長く生きているのですが、相対的にはゾウは寿命のやっとならば3分の1になったばかりの青年



150年以上の長寿記録を有するゾウガメ

なきごえ24(10),1988

期ですし、一方ハツカネズミはもう老年期を迎えたといえましょう。そう考えるとこの2歳のハツカネズミの方がはるかに長寿であるといえます。生存した年数だけで動物の長生き比べをすると、大変な誤りをおかす危険性があるわけです。

哺乳類に比べると鳥類や爬虫類では寿命の長いものが多く、例えばゾウガメの中には生存期間が150年をこえるものも確認されており、動物の中でもこれが最長の記録と思われる。動物全体でみると、人間の平均寿命は85歳には近づくものの到達が困難であろうと予想されており、しかもどんなに長く生きてても120歳くらいと考えれば、カメを越えて動物の頂点に立つのは無理なようです。

表②に日本の動物園で現在飼育中の長期飼育動物ベスト10をあげてみました。戦前からのものは高松市の栗林公園動物園で飼育中のヨウスコウワニ1頭だけとなり、残りは全て戦後に飼育が始まったものばかりです。ワニが1、2位を占め、ゾウが3位以下に7頭を占めているのはおもしろい現象で



天王寺動物園の長期飼育記録第1位のエミュウ

す。戦争によって栄養失調や猛獣処分でゾウが次々に死亡しましたが、それさえなければベスト10は全てゾウが占めていたのではないのでしょうか。昭和25年以降、日本各地の動物園にゾウが次々と入ってきましたが、それらが今やつと長期飼育動物のトップクラスを占めるようになってきたのです。寿命的にもまだ半分を越えたところですから、これから10年ほどの間に日本の動物園における長期飼育動物はゾウばかりになる日がくるような気がします。

表③には天王寺動物園における長期飼育動物をまとめてみました。第1位のエミュウは丁度満42年を迎えて3日後に亡くなりましたが、飼育年数42年は日本ではヨウスコウワニ57年(栗林)、オウムの一種キバタン54年(京都)につぐ日本歴代3位の記録であり、エミュウとしては世界の最長記録保持者です。

生存動物の中ではばちばち老化現象のできたものもありますが、今後まだまだ健康にすごして1日でも長生きしてほしいものです。

(飼育課:宮下 実)

表② 日本の動物園における長期飼育動物(昭和63年3月末現存中のもの)

動物名	飼育期間	飼育年数	飼育動物園
1 ヨウスコウワニ	昭和5年6月~	57 <sup>年</sup> 11 <sup>月</sup>	栗林
2 ミシシッピーワニ	昭和24年9月~	38 6	天王寺
3 アジアゾウ	昭和25年4月~	37 11	天王寺
4	昭和25年6月~	37 9	天王寺
5	昭和25年6月~	37 9	宝塚
6	昭和25年9月~	37 6	神戸
7	昭和25年9月~	37 6	小田原
8 オオワシ	昭和26年2月~	37	札幌
9 アジアゾウ	昭和26年4月~	36 11	横浜
10 チンパンジー	昭和26年5月~	36 10	上野
11 アジアゾウ	昭和26年5月~	36 10	上野

表③ 天王寺動物園の長期飼育動物(昭和63年3月末現在)

動物名	性別	愛称	飼育期間	飼育年数
1 エミュウ	♂		昭和11年8.26~昭和53年8.29	42年
2 モモイロペリカン	不明		大正9年~昭和36年4.24	40年4ヵ月
3	♂		大正9年~昭和35年7.15	39年7ヵ月
4 ミシシッピーワニ	不明		昭和24年9.9~生存中	38年6ヵ月
5 アジアゾウ	♀	春子	昭和25年4.15~生存中	37年11ヵ月
6	♀	ユリ子	昭和25年6.5~生存中	37年9ヵ月
7 チンパンジー	♀	シュジー	昭和26年5.31~生存中	36年10ヵ月
8 タンチョウ	♂		昭和24年3.3~昭和58年5.9	34年2ヵ月
9 コンドル	♂		昭和32年9.27~生存中	30年6ヵ月
10	♀		昭和32年~生存中	〃
11 カラカラ	不明		昭和32年10.31~生存中	30年5ヵ月
12 カバ	♀	デブコ	昭和27年10.10~昭和58年1.11	30年3ヵ月
13 エミュウ	♀		昭和12年4.12~昭和42年4.1	29年11ヵ月

# ワライカワセミの人工育すう

なきごえ24(10),1988

## § はじめに

昭和63年4月6日と8日に各1羽ずつワライカワセミのヒナがフ化しました。

過去2年間、自然繁殖していましたが、今年は人工育すうでこの2羽を育てました。しかし、ワライカワセミの人工育すうは日本で初めてで、何の資料もないため自然繁殖の観察記録を参考にするしかありませんでした。

今回は、この2羽のワライカワセミの人工育すうについての話をすることにしましょう。

## § 人工育すうについて

哺乳類の場合には周囲の環境(騒音や展示場・寝室の広さ、係員との関係など多くの要因が考えられます)のために親が生んだ子供を育てなかったり、母親のお乳が出ない時など、そのままの状態が続いていると子供や親もしくは両方とも衰弱したり、最悪の場合には死亡すると考えられる時に子供を親から離して人間の手で育てることがあります。

しかし、鳥類の場合には人間の手で卵やヒナをとりあげて育てる理由が他にもあります。

鳥たちは種類によって一度に抱卵する卵の数が大体決まっています。キジ類などでは平均して5~8卵もの卵を抱きます。でもカメのように一度にまとめて産むのではなく、1~2日おきに1卵ずつ産み5~8卵になると抱卵を始めます。この途中で卵を1卵ずつとりあげていくとキジは5~8卵になるまで卵を産み続けます。こういう習性を補卵性といいます。この習性を利用して多くの卵を手に入れるために卵をとりあげることがあります。もう1つの理由として、抱卵していた卵が何らかの原因でフ化しなかった時には、また新たに卵を産みます。産卵し、抱卵し始めるまでに産まれた一腹の卵を1クラッチと呼びますが、この習性を利用すれば、2~4クラッチの卵を手に入れることができます。いずれにし

る自然なことではなく、メスにかかる負担も大きなものであるのは十分考えておかなければなりません。この様に手に入れた卵はやはり人間が責任を持って育てなければ親鳥に申しわけがたたないと思います。

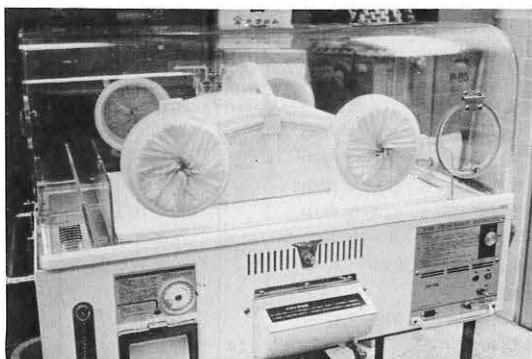
## § 人工育すうへの経過

当園のワライカワセミは例年3月末から4月中頃にかけて初卵を産みます。今年は3月12日から15日にかけて3卵を産みました。例年通りの自然繁殖も考えたのですが、今回は次のような理由で人工育すうすることに決めました。

- 1). 過去2年間自然繁殖に成功しているのはいずれも1クラッチ目に産卵されたもので、それ以降の卵は全て無精卵でした。その原因としては2クラッチ目を産む頃は1クラッチ目のヒナの巣立ち後間もない時期であり、オスは巣立ちしたヒナにまだエサを与えているので繁殖行動はとらないことが考えられます。ですから、自然繁殖をした場合には時期的な余裕から、年2回の繁殖は無理だと考えられます。しかし、今回は早い時期に産卵があったため、1クラッチ目を人工繁殖することにより2クラッチ目の繁殖にも時期的な余裕が得

表I 人工育すう記録表

昭和63年4月6日	フ化後 0 日目	担当	早川,宮下,長瀬
気(室)温	32℃ [13時現在]	最高	最低
便の状態			
	1時40分(給餌前)	3時30分(給餌前)	
体重	20.1 g	g	
全長	81.3 mm		
嘴峰	12.6 mm		
跗蹠	17.9 mm		
翼長	14.2 mm	羽毛、一切無	
尾長	4.7 mm	羽軸らしいもの5~6本あり	
給餌時刻	給餌量	動 静	
1時50分	P.マウス1匹	くわえるが食べず	
3時15分	P.マウス1.(1.6g)	10分位	
時 分			
時 分			
時 分			
備 考	フ化日 3 / 12,13,15. 4 / 4 . 3 卵ともフ卵器へ移動 (1卵はし上げ) 1卵無精 4 / 5 . 2 卵ともはし上げ. 卵重No.1~23.1g No.2~22.8g 4 / 6 . AM10:45. No.1 . フ化確認 PM 1:40. 哺育箱へ		



哺育箱

なきごえ24(10),1988

き、年2回の繁殖の可能性が高いと考えられたためです。

- 2). 今までに2度の繁殖記録があるもののワライカワセミの子育ては巣箱の中で行なわれるためにヒナの成長過程や給餌量などが正確に把握できないでいましたが、人工育すうをすることによりそれらを詳しく知ることができると考えられたため。

## § 人工育すうの準備

人工育すうは普通、親が産んだ卵をとりあげてフ卵器へ移し、フ化したヒナを育てるのですが、今回は卵を温めるのは両親に任せて、フ化するまでの間に人工育すうのために必要な準備をしました。

フ化直後のヒナは羽もなく赤裸の状態です。羽がはえそろう25日齢頃までは保温を必要とするために保育箱を使うことにしました。給与飼料として自然育すうの時に与えていたピンクマウスを主食として使うことに決め、冷凍のピンクマウスを購入しました。また今回はできる限り正確な成長記録を残すために記録表を作り、ヒナがフ化するのを待ちました。

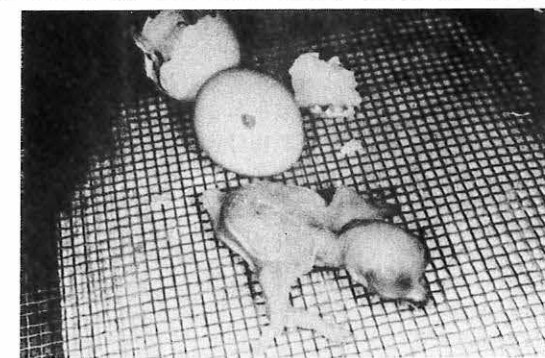
## § 人工育すう記録

フ化予定日の1日前に親から卵をとりあげてフ卵器に移し、2羽のヒナがフ化しました。フ卵器内の温度は31℃±3℃(0~10日齢)、25±3℃(10~35日齢)また湿度は50~70%に保ちました。20日齢までは目が見えずお互いにかみあうことがあるため分けて育てました。0日齢からすぐにピンクマウスを食べてくれたために餌付けには何の苦勞もせずすみしました。表IIに示したとおり、食欲は旺盛で10日齢頃までは自分の体重の半もの飼料を食べており、その食欲は羽がはえそろう頃まで続きました。そのせいか体重の増加も早く毎日見違えてしまう程、大きくなっていきます。11日齢を過ぎた頃から飼料も

表II 給餌量と体重測定値

		0	5	10	15	20	25	30	35
A	給餌量(g)	P.M.1 2.4	P.M.7 16.8	P.M.26 62.4	M.4, L.1 72.4	M.3, L.4 85.6	M.3 59.7	M.3 48.3	M.2 39.3
	体重(g)	20.1	46.5	115.1	198.3	293	323	310.5	310
B	給餌量(g)	P.M.2 4.8	P.M.14 33.6	P.M.24 M.1 68.6	M.4, L.2 56.1	M.2 28.7	M.3 50.6	M.5 66.3	M.2 27.8
	体重(g)	18.6	49.6	113.7	205	280	301	303	296

P.M.1はピンクマウス1頭の意  
P.M.はピンクマウス  
M.はマウス  
L.はドジョウ  
体重は午前9時30分の測定値



フ化直後のヒナ

ピンクマウスからマウスになり、そのためにペリット(毛や骨などの消化できないものを固まりにして口から吐き出したもの)も出すようになります。10日齢で目は開きますが、視力がつくのは20日齢頃のようなです。25日齢位で全身に羽がはえると食欲も目に見えておちてきます。その頃から少しずつ外気に慣らしていき、40日齢(外気20℃)には屋外展示を始めました。屋外に出すと最初はあまり上手に飛べませんが2~3日もすると自分の思い通りに飛べるようになりました。

## § おわりに

卵をとりあげる際に気掛りであった親の2クラッチ目の自然繁殖の方も無事に3羽のヒナがフ化成長し、ホッと一安心しました。

今回、一回のシーズンで自然繁殖と、人工育すうの両方を実施したことは、メスに対しかなりの負担をかけてしまった事と思います。しかし、この人工育すうで得た記録が今後の動物園でのワライカワセミの飼育管理に少しでも役立つ事があれば、と考えています。

(飼育課:早川 篤)



動物園での実習

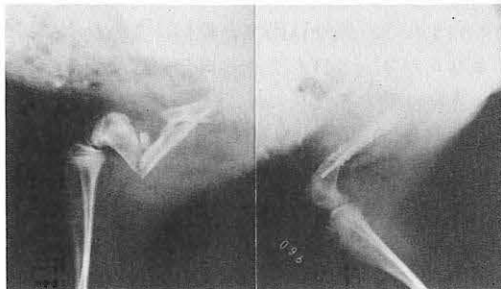
当園では、春・夏・冬期の休みを利用して診療実習を希望する獣医学科の学生を受け入れています。将来は獣医師をめざす、動物好きの学生たちばかりです。北は北海道の帯広畜産大学から南は九州の鹿児島大学まで、日本各地の大学から学生たちが当園での実習を希望してやってきます。

今年の夏は今まで最高の12人の獣医師の卵たちが当園で実習を行ない、様々な動物たちと接触する機会を持ちました。

夏期の実習は7月8日から始まり、9月14日で終了となりました。実習期間は2週間から1か月と各人様々です。

今回はその実習生の奮闘ぶりをトピックしてみました。

7月8日、タスマニアデビルの注射を行ないました。実習生は飼育担当と共に、注射がうち易い姿勢になるよう保定の手伝いをしました。老衰の治療ですが、力が弱くなってきているとはいえ、油断はできません。デビルのアゴは我々の骨なら一瞬にして噛み砕いてしまいます。



アカカンガルーの“ピコ”の右大腿骨折(左)とその治療後のレントゲン写真

フサオマキザルの子が後足の筋力が十分でないため、リハビリと注射を続けていましたが、実習生も手伝うことになりました。それが効を奏したのか、8月末にはかなり筋力がついてきたようです。

ダチョウの卵の標本製作を7月13日に行ないました。この卵は無精卵で、殻に小さな穴をあけて、中の卵黄と卵白を取り出してしまふもので、サマースクールの教材にもなります。

アカカンガルーの子供“ピコ”が7月18日早朝、病院に運び込まれてきました。足がぶらぶらしているようで骨折のようです。レントゲン写真をとってみると、右大腿骨が2ヵ所でバラバラに折れています。早速手術を開始しました。この手術の場合、熟練が要求されるため、実習生はほとんど見学に終始しましたが、骨折手術、麻酔などの大変良い勉強になったようです。

7月21日にはサバンナモンキーのオスが他のオスから咬傷を受けたので、手術を行なうことになりました。血液検査のやり方、また、手術での皮膚や筋肉の縫合の仕方、サルスの保定の方法を学びました。皮膚を縫っているとき、私が鋼線を使っていると、「先生なぜ鋼線を用いるのですか?」と素朴な質問。

(飼育課・森本委員)

「サルは頭がいいので、皮膚を縫っても普通の糸じゃすぐほどいてしまうので」というと納得していました。実際現場で得たこのような知識は実習生たちには強い印象となって、いつまでも心に残ることでしょう。

7月26日、フンボルトペンギンの1羽が急死しました。実習生たちは興味深々でこのペンギンの解剖を行いました。筋肉の色が他の動物に比べて赤黒いのにはまず目を見はっていました。

これは、海中で長時間もぐれるように、ミオグロビン量が多いのが最大の理由です。また、胸の骨が著しく大きく、また、内臓では胃も大きい袋状になっていること、小腸が細く大変長いことにもびっくりしていました。



注射してもらっているアカカンガルーの“ピコ”

このペンギンは、飲みこんだ木の枝で胃に穴があいて炎症をおこし急死したことが分かりました。

チュウゴクオオカミの眼の治療を、その飼育舎に入って定期的に行なっています。飼育担当者が首輪をつけ、我々が口をつかまえて咬めないようにし、洗眼や点眼など行ないます。人工哺育で育ち、人に馴れているオオカミとはいえ、その舎内に入って自ら治療を行なうというのは、かなりこわいことだったでしょう。



リハビリ中のフサオマキザル

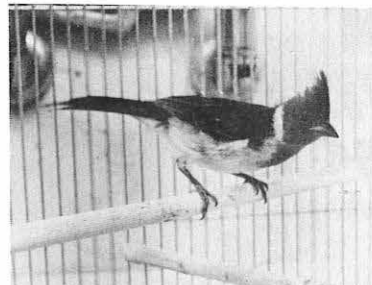
実際の退治までも行なうわけです。

その時、その場での体験は各人違うもの、全てが実習生にとっては貴重な勉強となったに違いありません。家畜だけではなく、野生動物全般にわたる広い視野をもった獣医師として、社会で幅広く活躍してほしいものです。

動物園ニュース

§ コウカンチョウのふ化

8月1日、コウカンチョウが1羽“小鳥の家”でふ化し、人工育すうで元気に成長しています。



コウカンチョウのふ化は天王寺動物園では、今年5月11日に同じ両親から3羽のひながふ化したのが初めてでしたが、“小鳥の家”

では13種26羽の鳥を雑居させているため、3羽のひなは翌日に行方不明になりました。そのため、同居している鳥のうちで比較的大型のカケスやミドリカケスなどを隔離し、次の繁殖に備えました。しかし、6月1日、2日にふ化した3羽、7月5日、6日にふ化した2羽のいずれも数日で行方不明になりました。

そこで今回の4回目の繁殖では、ふ化後3日目の6月4日にひなを親鳥から取り上げ人工育すうすることにしました。1日に15回から19回も鳥用の固形飼料とミルワームという生きた虫を中心にした餌を与えなければならず飼育担当者ははてなごまの忙しきでしたが、ひなの成長は非常に早くふ化後14日目頃から、頭にコウカンチョウ特有の赤い羽毛がはえ始め、16日目にはわずかに飛べるようになりました。自分で餌を食べられるようになれば、親鳥達といっしょにさせる予定です。

§ キンクロハジロのふ化

8月1日、キンクロハジロが4羽自然ふ化しました。



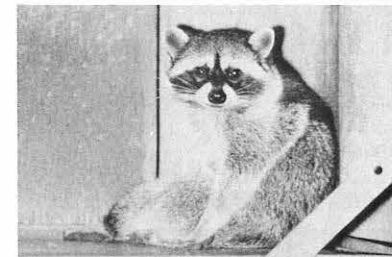
のオープンにあわせて来園したものです。

小さなひなは同居しているシバシコウなどから攻撃を受ける危険性が高いため、“鳥の楽園”内の隔離室に親子を收容しました。環境が変わったため、親鳥の着着きがなくなり、うまくひなを育てていないかと心配されましたが、それほどのこともなくひなは順調に成長しました。

§ アライグマの保護相次ぐ

8月11日アライグマのオスが保護されました。こ

のアライグマは南区日本橋の空き地で飼育されていたもので飼いが餌を与えに来なくなったため近所の人が見かねて餌を与えていたものでしたが、木製の檻から脱出したため、警察の依頼を受け当園の職員2名が出動し捕獲したものです。飼いは2年前に子供のアライグマを購入したものの大きくなったため家の中で飼えなくなり、空き地内に檻をつくり飼っていたものでした。



飼いは飼育する意欲はなく当園で飼育することになりました。5日後の16日には今度は西成警察の依

頼でメスが1頭保護されました。西成区天下茶屋の民家にまぎれ込んだもので飼いはまだ現れていません。

当園にはメスが1頭飼育されているだけです。近く3頭をいっしょに展示する予定です。今回は幸い当園に收容することができましたが、安易に野生動物をペットとして飼う風潮は困ったものです。

§ 展示館にイラストペインティング

北園展示館のシャッターにメルヘンタッチの美しい動物のイラストが完成しました。



このイラストは石川裕敏さんを初めとする大阪芸術大学の13人の皆さんの協力で完成しました。

夏休みの期間を利用して7月1日から作業に入り暑い中連日来園されイラストを描いていただきました。動物と子供の触れ合いをテーマに構成されており、ゴリラやゾウなどが描かれています。これで催物がなくとびらを降ろしている間もかわいいイラストをお楽しみいただくことができます。

● お知らせ

動物のお話とスライドの会

- 10月16日(日) 飼育係と獣医師の一日
11月20日(日) ホッキョクグマの赤ちゃん
12月11日(日) この一年の出来事
時間：午後1時～2時
場所：北園レクチャールーム

\* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。12月までの休園日は下記のとおりです。
10月17日(月)、11月21日(月)、12月19日(月)
年末年始は12月29日から1月1日まで休園します。
開園時間は午前9時30分～午後5時迄で、午後4時に切符売り止めになります。

現在の飼育動物数

Table with 4 columns: Category, Count, Species, Points. Includes rows for Mammals, Birds, Reptiles, and Totals.

キップスは便利をかたちにしたカード。

近鉄グループカード  
〈キップス〉

会員募集中

**KIPS** VISA JCB

◎近鉄百貨店でのお買物が5%割引など、近鉄グループの特典いろいろ。

お問合せとお申込みは各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階 ●上本町店11階 ●東大阪店本館 ●橿原店6階 ●奈良店4階 ●西京都店1階 ●東京店7階

**近鉄百貨店**

DEAR LIFE BOOKS



**生態・飼育・図鑑** 一つの本の  
中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光／監修  
B5変型判・オールカラー  
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

＜くらしかいかたシリーズ＜既刊本＞

B5変型判・オールカラー・各定価580円

**むし** くらしかいかた

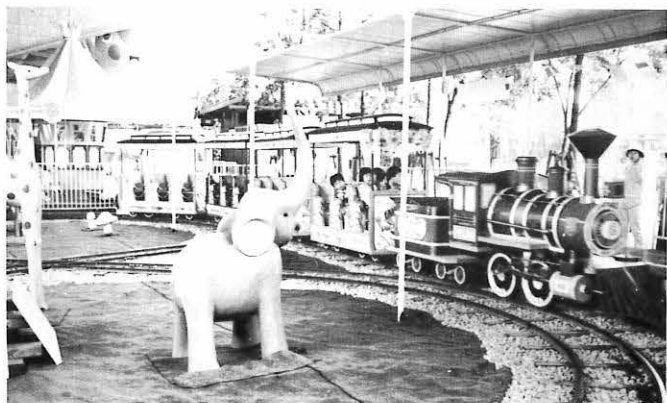
野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

**ちいさないきもの** くらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **ひかりのくに株式会社** 本社／〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは  
頭脳をもった。



高画質時代をリードする  
はるかに美しく

**フジカラー SUPER HR**

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031

平岩米吉 著 日本狼の正史ついに完成

改訂六版 **狼—その生態と歴史—**

定価 2,800円  
A5判・本文320頁  
口絵・挿画等140図

☆犬科動物の研究者として知られる著者が数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の眼をもって描いた空前の書。日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 序章 狼への幻想と現実                | 第一章 犬科の分類と解説           |
| 第二章 犬と狼の関係 家犬の成立 犬と狼の相違点   | 第三章 日本狼の歴史 古代の狼害と狼の神格化 |
| 第四章 狼狩の記録 江戸時代の狼狩り         | 第五章 狼の伝説 間違いだらけの狼の姿態   |
| 第六章 日本狼の形態 日本における狼の研究      | 第七章 日本狼の絶滅 最後の日本狼      |
| 終章 狼を飼った人々 秩父宮殿下の狼。著者の飼った狼 |                        |

発行 動物文学会 〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659 振替東京5-9800 発売 (株)池田書店 〒162 東京都新宿区弁天町43番地 電話(03)267-6821 振替東京2-60072

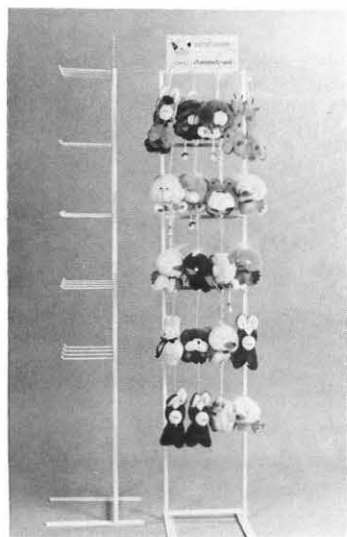
- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。



大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



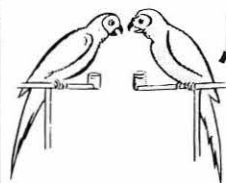


## 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

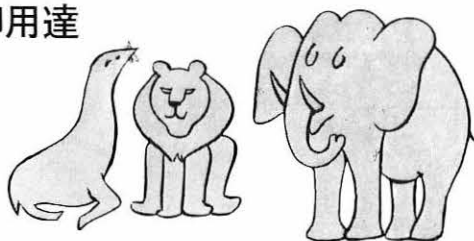
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

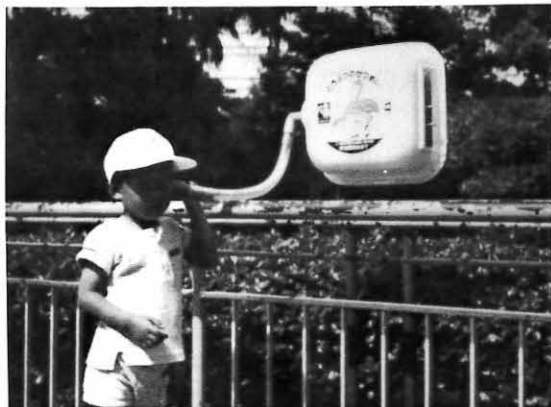


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヵ所にあります

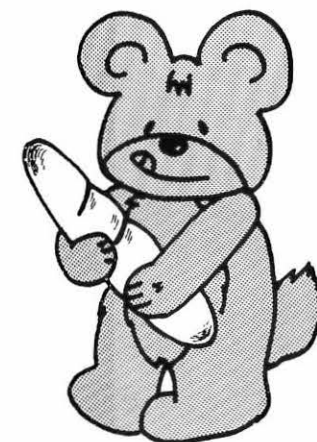
関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

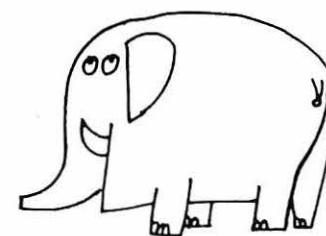
大阪市天王寺動物園内

## 中央売店

☎ (06) 771-0973



## 天王寺動物園内

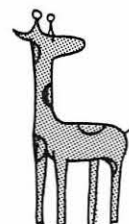


## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

## 園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願ひ致し  
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444



もっとおいしく もっと元気に!... 雪印



# 雪印ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにもピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

## WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部  
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。  
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?  
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和63年10月10日発行 (毎月1回10日発行) 第24巻 第10号 (通巻278号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/斉田 尚/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)  
(森本委利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/赤松 建/中垣圭史/大川光雄/山下賢二/土谷正道)